

- 2) 昭和49年度春季九州ブロック会議資料.
- 3) 九州農試研究資料第59号 (1980).
- 4) 岩田岩保他: 雑草研究第13号 (1972).
- 5) 山本泰由: 九州の雑草第12号 (1982).
- 6) 山本泰由ら: 雑草研究第25巻別号.
- 7) 鳥山國士ら: 日作紀第25巻 (1956).
- 8) 渡辺泰ら: 北農試彙報第83号 (1964).
- 9) 岩田岩保ら: 九農試報告第17巻 (1974).
- 10) 岩田岩保ら: 雑草研究第25巻 (1980).

昭和57年度リンゴ用 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和57年度リンゴ用除草剤・生育調節剤委託試験成績検討会は、昭和58年2月1日(火)、福島県果樹試験場(福島市飯坂町平野檀の東)において、試験関係者および委託関係者等72名参集のもとに開催された。

当検討会では、除草剤14薬剤59点、生育調節剤10薬剤32点について、試験担当場所の報告の後に、活発な質疑応答ならびに慎重な審議が行なわれた。

その判定結果は、次表のとおりである。

昭和57年度 リンゴ用除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧表

A. 除 草 剤

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) (委 託 者 名)	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
リンゴ	(1) AH-502 水和	DCMU: 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1'-ジメチル尿素 23.5 パラコート: 1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジリウムジクロリド 15.6	北海道中央農試, 秋田果試, 山形園試, 富山農試果試. (4)	適用性〔刈取代用効果の確認, 一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下時); 30, 50g<15~20l>; 茎葉処理, 非イオン系展着剤加用. <比較>グラモキソン30ml.	継続 実・継	実: 〔一年生雑草全般; 刈取代用兼清耕維持〕 春・夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下時), 30~50g<15~20l>茎葉処理.
			青森りんご試, 福島果試. (2)	薬害〔樹体に対する薬害の有無の確認〕 ①春期および夏期(2回連用); 100g. ②春~夏期(1	継続	継: 寒地での効果確認および草種・草量と薬量との関係について.

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有率(%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類(ねらい,対象雑草) 処理時期;散布薬量(製品/a) <水量/a>;処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
リンゴ (つづき)	(1) AH-502 水和 (つづき)			回); 250g. 土壌処理, 非 イオン系展着剤加用.		
	(2) A S R- 3610液 〔旭化成工業・ 昭和ローディ ア化学〕	パラコート(ジ クロリド)15 オキサジアゾン: 5-ターシャ リーブチル- 3-(2,4- ジクロル-5 -イソプロポ キシフェニル) -1,3,4-オ キサジアゾリ ン-2-オン10	青森畑作園試, 宮城園試, 秋 田果試. (3)	適用性〔効果・薬害の検討, 一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下時); 50, 75, 100ml<15l>; 茎葉 処理, 非イオン系展着剤加 用. <比較>パラコート液剤.	新規 継	●試験年次不足およ び薬害試験の実施.
	(3) B-3015 ・P 粒 (サターンバ アロ) 〔クミアイ化 学工業〕	ベンチオカブ: S-(4-クロ ルベンジル) -N, N-ジ エチルチオカ -バメート8 プロメトリン: 2-メチルメ ルカプト-4, 6-ビスイソ プロピルアミ ノ-8-トリ アジン0.8	青森りんご試, 宮城園試. (2) 青森畑作園試, 宮城園試. (2)	適用性〔効果・薬害の検討, 一年生雑草全般〕 ①春期, 雑草発生前. ②夏 期, 中耕除草後雑草発生前. 600, 800, 1000g; 土壌 処理. 薬害〔わい性合リンゴ樹に対 する薬害の有無の検討〕 ①春期および夏期(2回連 用); 2000g. ②春~夏期 (1回): 5000g. 土壌処 理.	新規 継 新規	●試験年次不足およ び薬害試験(2年 目)の実施.
	(4) DDX 水和 (クサダウ DX) 〔北興化学工 業〕	DOPA: 3,4 -ジクロル ロピオンアニ リド40 DCMU10 XMC: 3,5- キシリル-N -メチルカー バメート3	北海道中央農 試, 岩手園試, 秋田果試, 山 形園試, 福島 果試, 富山農 試果試. (6) 青森りんご試, 宮城園試. (2)	適用性〔薬量差による刈取代 用と永久除草効果の使いわ けの可能性の検討, 効果と 薬害の検討, 一年生雑草全 般〕 春期および夏期, 雑草生育 初期(草丈30cm以下時); 100, 200g; 土壌処理, 慣 行展着剤加用. 薬害〔わい性合リンゴ樹に対 する薬害の検討〕 ①春期; 400g. ②夏期; 1000g. 土壌処理.	継続 実・継 継続	実: 〔一年生雑草全 般, 清耕維持およ び刈取代用〕 ①清耕維持; 春・ 夏期, 雑草発生始 期~生育初期, 100 ~150g<15l>; 茎葉処理. ②刈取代用; 春・ 夏期, 雑草生育期 (草丈30cm以下時) 150~200g<15 l>; 茎葉処理. 継: 処理時期(温度・ 草丈)の検討.

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委 託 者 名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類〔ねらい, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
リンゴ	(5) diuron 水和 (カーメックスD) 〔デュボン ファーイー スト 日本 支社〕	DCMU ……………78.5	果樹試験盛岡支 場, 山形園試。 (2) (自主) 青森 畑作園試。	薬害〔わい性合リンゴ樹に対 する薬害の有無の確認〕 ①春期および夏期(2回連 用); 40g. ②春期～夏期 (1回); 100g. 土壌処理。	継続 実	●〔一年生雑草全般, 清耕維持〕 春・夏期, 雑草発 生前, 10～20g <10～15l>, 土 壌処理。
	(6) glyphosate 液 (ラウンドア ップ)	グリホサート: N-(ホスホ ノメチル)グ リシンのイソ プロピルアミ ン塩 ……………41	岩手大学, 青 森りんご試, 長野果試。 (3) (自主) 青森 りんご試。	適用性〔少水量での実用性の 検討, 一年生および多年生 雑草全般〕 ①春期(一年生雑草主体); 50ml<1, 2.5, 5l>. ② 夏期(多年生雑草主体); 100ml<1, 2.5, 5l>. 茎 葉処理。<比較>ラウンド アップ水量10l.	継続 実・継	実:〔雑草全般(少 水量散布)〕 春・夏期, 雑草生 育期, 50～100ml <2.5～5l>, 茎 葉処理。 継: 散布(水)量と 散布機具について。
	〔日本モンサ ント〕		岩手園試。 (1)	大規模実用化〔雑草防除体系 の確立, 一年生および多年 生雑草全般〕 詳細は試験成績集録参照。	継続 ---	
	(7) Hoe-866 液	グルホシネート アンモニウム: アンモニウム - (3-アミ ノ-3-カル ボキシ-プロ ピル)-メチ ルホスフィネ ート ……………20	果樹試験盛岡支 場, 青森りん ご試, 宮城園 試, 秋田果試 鹿角分場, 長 野果試。 (5)	適用性〔刈取り代用効果の検 討, 一年生および多年生雑 草全般〕 春期, 夏期雑草生育期(草 丈30cm以下時); 50, 75, 100ml<10l>; 茎葉処 理。 <比較>パラコート液剤。	新規 実継	実:〔雑草全般〕 春・夏期, 雑草生 育期(草丈30cm以 下時), 75～100 ml<10l>; 茎 葉処理。 継: 効果確認, 薬害 試験(2年目)の 実施。
	〔ヘキスト ジャパン〕		岩手大学, 植 調研。 (2)	薬害〔薬害の検討〕 ①春期および夏期(2回連 用); 200ml<10l>。 ②春～夏期(1回); 500 ml<10l>; 土壌処理。	新規	
【S.56 秋処理】	(8) KH-216 粒	未 公 開	山形園試, 長 野果試。 (2)	適用性〔秋冬期処理による翌 春の抑制効果の検討, 一年 生および多年生雑草全般〕 秋冬期(11月～積雪前); 2,3kg; 土壌処理。 <比較>カソロン6.7, 500g.	新規 継	●成分未公開, 試験 年次・例数不足。
	〔兼 商〕					
	(9) linuron 水和 (ロロックス)	リニュロン:3 - (3,4-ジ クロルフェニ ル)-1-メ	青森畑作園試, 岩手園試, 山 梨果試。 (3)	適用性〔効果・薬害の確認, 一年生および多年生雑草全 般〕 春期, 雑草発生前～発生前	継続 実	●〔一年生雑草全般, 清耕維持〕 春・夏期, 雑草発 生前(～始期)30

対象果樹 (品種名)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委 託 者 名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類(ねらい, 対象雑草) 処理時期; 散布薬量(製品 / a) <水量 / a>; 処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
【S. 56 秋処理】 (つづき)	(9) linuron 水和 (ロックス) (つづき)	トキシ－1－ メチル尿素 ……………50		期および夏期, 中耕除草後, 雑草発生前; 20, 30, 40 g <15 l>; 土壌処理, 慣行 展着剤加用. <比較>CAT剤.		~40g<10~20l> 土壌処理. 〔但し, わい性合 木園での使用お よび中耕除草後 散布も可.〕
	{デュボン ファーイースト 日本支社}		果樹試験盛岡支 場, 長野果試. (2)	薬害〔わい性合リンゴ樹に対 する薬害の有無の確認〕 ①春期および夏期(2回連 用); 80g. ②春~夏期(1 回); 200g. 土壌処理.	継続	
	(10) MW-801 液 (ハーベュー ス)	ピアラホス: 2 ーアミノ４ ー〔(ヒドロ キシ)(メチ ル)ホスフィ ノイル〕ブチ リルーアラニ ルアラニン ナトリウム塩 ……………32	北海道中央農 試, 北海道道 南農試. (2) (自主) 秋田 果試.	実用化〔実用化の確認, 一年 生および多年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下時); 50, 75, 100ml<15 l>; 茎 葉処理, 非イオン系展着剤 加用. <比較>パラコート液剤.	継続 実	●〔雑草全般, 刈取 代用〕 春・夏期, 雑草生 育期(草丈30cm以 下時), 50~100ml <15 l>, 茎葉処 理.
	(11) OK-180 乳	未 公 開	青森りんて試, 長野果試. (2)	適用性〔効果・薬害の検討, 一年生および多年生雑草全 般〕 春期および夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下時); 50, 100ml; 茎葉処理.	継続 継	●成分未公開, 試験 例数不足, 薬害試 験の実施.
(12) SL-236 乳	フルアジホップ: 2ー〔4ー(5 ートリフルオ ロメチルー2 ーピリジルオ キシ)ーフェ ノキシ〕プロ ピオン酸ブチ ル……………35	果樹試験盛岡支 場, 秋田果試 鹿角分場, 長 野果試. (3)	適用性〔イネ科草生園におけ る刈取代用としての適用性 の検討, 除草効果と樹体 に対する影響についての検討, イネ科一年生雑草〕 春期および夏期, 雑草生育 初期(草丈10~20cm時): 10, 20, 30ml<10~15 l>; 茎葉処理, 慣行展着剤加用.	新規 継	●試験年次不足, 薬 害試験の実施, (使 用場面の検討).	
(13) YF-65 液 (プリグロッ クス)	パラコート(ジ クロリド) ……………10 ジクワット: 1, 1'ーエチレン ー2,2'ービピ リジリウム ジプロミド ……………14	北海道中央農 試, 青森畑作 園試, 秋田果 試. (3)	適用性〔効果・薬害の確認, 一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育 期(草高30cm以下時); 40, 50ml<15~20 l>; 茎葉 処理, (非イオン系展着剤 加用). <比較>グラモキシソン30ml.	継続 実	●〔一年生雑草全般 刈取代用〕 春・夏期, 雑草生 育期(草丈30cm以 下時), 30~50ml <15~20 l>, 茎 葉処理.	
	{アイ シー アイ ジャパン}		岩手園試, 長	薬害〔樹体に対する薬害の有	継続	

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委 託 者 名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類(ねらい, 対象雑草) 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
リンゴ (つづき)	(13) YF-65 液 (プリグロックス) (つづき)		野果試. (2)	無の確認 ①春期および夏期(2回連用); 100 ml. ②春期～夏期(1回); 250 ml. 土壌処理, 非イオン系展着剤加用.		
	(14) YF-97 水和 (液状)	パラコート(ジクロリド) ……………24 DCMU ……………20	北海道中央農試, 青森畑作園試, 秋田果試鹿角分場, 富山農試果試. (4)	適用性〔効果・葉害の確認, 一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草高30cm以下時); 30, 50 ml <15~20 l>; 茎葉処理, 非イオン系展着剤加用. <比較>グラモキソン30 ml.	継続 実	●〔一年生雑草全般,刈取代用兼清耕維持〕 春・夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下時), 30~50 g <15~20 l>, 茎葉処理.
	〔アイ シー アイ ジャパン〕		岩手園試, 山形園試. (2)	葉害(樹体に対する葉害の有無の確認) ①春期および夏期(2回連用); 100 ml. ②春～夏期(1回); 250 ml. 土壌処理, 非イオン系展着剤加用.	継続	

B. 生育調節剤

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委 託 者 名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量(製品/a) <水量/a>; 処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
リンゴ 〔つがる・ スター キング〕	(1) A-365 液 (ストッポール) 〔ユニオン カーバイド 日本〕	ジクロルプロップ: 2,4-ジクロロフェノキシ-2'-プロピオニックアシッドトリエタノールアミン塩 ……………3	【つがる】 北海道中央農試. (1) (自主) 青森畑作園試, 岩手園試, 秋田果試, 山梨果試. 【スターキング】 (自主) 岩手園試.	実用化〔収穫前落果防止効果の確認〕 収穫前25日および15日(2回); 20, 30 ㎖; 立木全面処理.	継続 実	●〔デリシャス系およびつがる; 収穫前落果防止〕 収穫前25日および15日の2回, 20~30 ㎖液, 立木全面散布.
〔つがる〕	(2) B-995 水溶 (ビーナイン) 〔日本曹達〕	N-(ジメチルアミノ)スクシンアミド酸 ……………80	北海道農試, 北海道中央農試. (2)	実用化〔収穫前落果防止効果の確認, 北海道への地域拡大〕 収穫前45日; 2000倍; 立木全面処理.	継続 実	●〔つがる; 収穫前落果防止〕 収穫前45日(1回), 2000倍液, 立木全面散布.
〔つがる・ スター キング〕	(3) GR-58 乳 (マデック)	MCPB: 2-メチル-4-クロロフェノ	【つがる】 青森りんご試, 岩手園試, 山	適用性〔収穫前落果防止効果の検討〕 収穫前25+15日, 25+18+	継続 実・継	実: 〔デリシャス系およびつがる; 収穫前落果防止〕

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) (委 託 者 名)	有効成分および 含 有 率 (%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期; 散布薬量 (製品 / a) <水量 / a>; 処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
〔つがる・ スター キング〕 (つづき)	(3) GR-58 乳 (マデック) (つづき) 〔兼 商〕	キシ酪酸ナト リウム ……………20	形園試, 長野 果試. (4) (自主) 青森 畑作園試, 長 野果試. 【スターキング】 果試盛岡支場, 青森りんご試, 秋田果試, 岩 手園試, 山形 園試. (5)	11日; 30, (45), 60 ㎡. 詳細は試験成績集録参照.		収穫前25日および 15日の2回, 30 ㎡ 液, 立木全面散布. 継: 濃度・回数およ び品質への影響に ついて.
〔つがる・ スター キング〕	(4) HOK-813 乳 〔北興化学工 業〕	フェノチオール: 2-メチル- 4-クロロフ ェノキシチオ 酢酸-S-エ チル ……………20	【つがる】 果試盛岡支場, 北海道中央農 試, 青森りん ご試, 秋田果 試, 山形園試, 長野果試. (6) 【スターキング】 福島果試. (1) (自主) 秋田 果試鹿角分場.	適用性〔収穫前落果防止効果 の検討〕 ①収穫前25日および15日(2 回); 30 ㎡. ②収穫前25日 および15日(2回); 40 ㎡. ③収穫前15日(1回); 30, 50 ㎡. 立木処理, 非イオン 系展着剤加用.	継続 実・継	実: 〔つがる; 収穫 前落果防止〕 収穫前25日および 15日の2回, 30 ㎡ 液, 立木全面散布. 継: 濃度, 品種 (お よび品質への影響) について.
〔ふじ〕	(5) UCSF-1 水和 〔長瀬産業〕	NAC: 1-ナ フチル-N- メチルカーバ メート ……………43	【ふじ】 青森りんご試, 山形園試, 長 野果試. (3)	適用性〔摘果効果および薬害 の確認〕 満開後14~20日頃, 中心果 果径10mmの頃; 500倍<30 ~40 l>; 立木全面処理. <比較>ミクロデナボン.	新規 継	●試験年次, 例数不 足.
〔つがる・ ふ じ〕	(6) B A 乳 (ビーエー) 〔クミアイ 化学工業〕	ベンジルアデニ ン: N ⁶ -ベンジ ル-アミノプ リン ……………3	【つがる】 北海道中央農 試. (1) 【ふじ】 北海道道南農 試. (1)	実用化〔側枝発生促進効果の 確認〕 新梢長50cm以下時; 300, 600 ㎡; 茎葉処理.	継続 実	●〔側枝発生および 花芽形成促進〕 新梢長50cm以上時, <ふじ・きたかみ> 300 ㎡液, <つが る>600 ㎡液, 立 木全面散布.
〔つがる・ スター キング・ ふ じ〕	(7) FR-6490 乳 〔藤沢薬品 工業〕	未 公 開 ……………85	【つがる・ス ターキング・ ふじ】 果樹試盛岡支 場. (1) 【つがる・ふじ】 長野果試. (1)	作用性〔わい性台木を使用し た苗木の側枝発生促進効果 の検討〕 詳細については, 試験成績 集録参照 (750~1500 ㎡, 1~2回処理).	継続 継?	●成分未公開, 薬害 あり.

対象果樹 〔品種名〕	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含有率(%)	試験実施場所 (場 所 数)	試験の種類〔ねらい〕 処理時期；散布薬量(製品/a) ＜水量/a＞；処理方法等	新継の別 今回判定	判定理由または内容
〔つがる・ ふじ・ 紅玉〕	(8) J-455 乳 (フィガロン) 〔日産化学 工業〕	エチクロゼート： エチル-5- クロロ-1H- -3-インダ ゾリルアセテ ート ……………20	果試盛岡支場。 (1)	適用性〔果実の成熟促進〕 生理落果終了期15～20日後； 3000倍(2回)，5000倍 (2回)＜30～50 l＞；立 木全面散布。	継続 継	●試験年次，例数不 足。
〔ふじ・ レッド ゴールド〕	(9) SLF-E 液 〔昭和電工〕	未 公 開 ……………5	果試盛岡支場。 (1)	基礎〔熟期促進…着色，肥大 等〕 開花2週間前，開花期，満 開2週間後；8000，4000， 2000倍；大枝別処理，展 着剤加用。	新規 継	●成分未公開，試験 年次，例数不足。
〔つがる・ ゴールド デン・ レッド ゴールド〕	(10) 二酸化ケ イ素 水和 (改良シオノ ックス) 〔塩野義製薬〕	二酸化ケイ素 ……………75	【つがる】 青森畑作園試， 岩手園試。 (2) 【ゴールド】 秋田果試(S. 56)。 (1) 【レッドゴー ルド】 岩手園試。 (1)	適用性〔処理濃度によるサビ 果防止効果の差の有無の検 討〕 中心花の落花後5日目から 10日間隔で3回散布；50， 100倍＜50～60 l＞；全面 処理。慣行農薬を本剤と同 時混用散布。	継続 実	●〔ゴールドデンリ シャス・レッドゴ ールド・つがる； サビ防止〕 中心花の落花直後 より10日おきに3 回，100～50倍液， 立木全面散布。 (但し，防除暦に よる農薬混用散 布。)

昭和57年度落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和57年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤
委託試験成績検討会は，昭和58年2月7日(月)，
協和銀行秋葉原支店4階会議室(東京都千代田
区神田和泉町1)において，試験関係者および
委託関係者98名参集のもとに開催された。

当検討会では，除草剤12薬剤52点，生育調節
剤16薬剤81点，合計28薬剤133点について，各
試験担当場所の報告，その質疑応答ならびに慎
重な検討が行なわれた。

その判定結果は，次表の通りである。